

沿岸定線観測速報 ちば (2024 年 5 月)

千葉丸：5 月 10～12 日

千葉県水産総合研究センター

千葉県農林水産技術会議

令和 6 年 5 月 22 日

黒潮は、房総沖を接岸して流れていました（図 2）。

水温は、概ね平年よりやや高めでした（表 1）。

【詳細】

沿岸水温は、外房海域の水深 100m 以外は、平年よりやや高めでした（表 1）。

水深 10, 100, 200m では岸から沖へ向けて顕著な潮目が形成されていました（図 3）。表層で、水温が鉛直的に様な水塊は水深 100m までは及んでいませんでした（図 5）。先月までは、このような水塊は水深 100m 以深にまで及んでいたことから、今月は水温の成層化が進んでいました。一方、九十九里沖の大陸棚付近の表層（水深 50～150m）には、これとは異なる 15℃以下の低温水が見られました。

黒潮は、接岸して房総沖を北東へ流れていました。また、黒潮流軸～北縁付近では北東へ向かう 2～3 ノットの流れが見られました（図 2）。

クロロフィル濃度は、水深 10m ではごく沿岸が 3 $\mu\text{g/L}$ 以上と高くなっていました（図 7）。

キンメダイ漁場の水温は、勝浦沖は例年並み、銚子沖は例年より 2～4℃高めでした（図 8）。

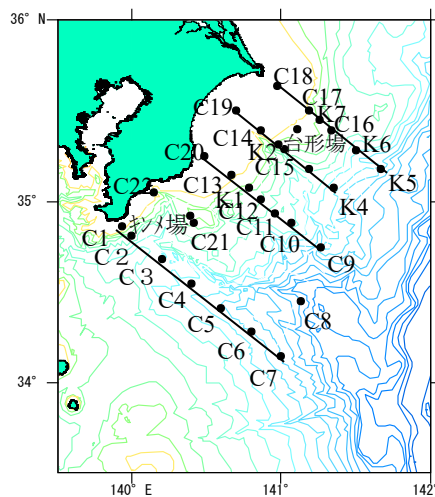


図 1 調査点

線は北から犬吠埼、九十九里、太東岬、野島埼南東線

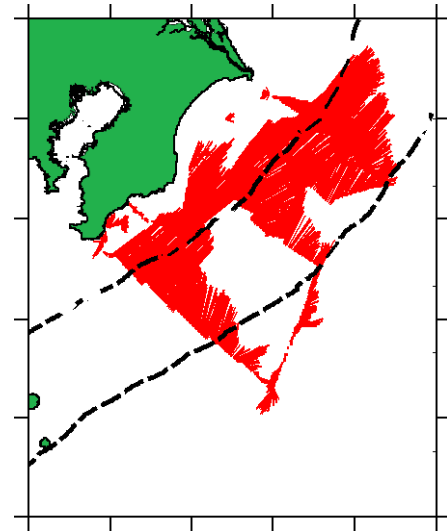


図 2 黒潮流路（破線）と流況

表 1 海域別平均水温（℃）と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	19.6 やや高め	18.6 やや高め	16.9 やや高め	15.8 やや高め
外房	20.5 やや高め	18.3 やや高め	16.6 平年並	15.1 やや高め

* 水温評価点 銚子・九十九里海域：C14～20 計 7 点，外房海域：C1,3,11,13,21,22 計 6 点

* 沿岸水温評価の目安（ σ ：標準偏差）

きわめて高め	2.0 σ ～
高め	1.3 σ ～2.0 σ
やや高め	0.6 σ ～1.3 σ
平年並	0.0 σ ～0.6 σ ， -0.6 σ ～0.0 σ
やや低め	-0.6 σ ～-1.3 σ
低め	-1.3 σ ～-2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ ～

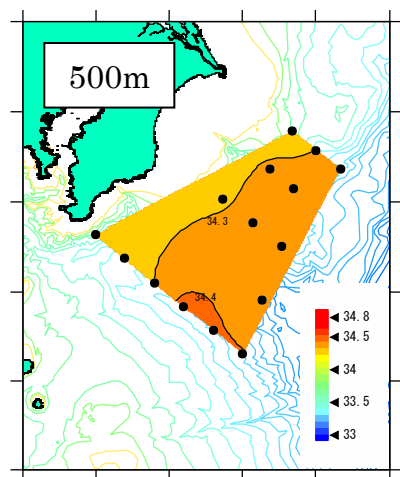
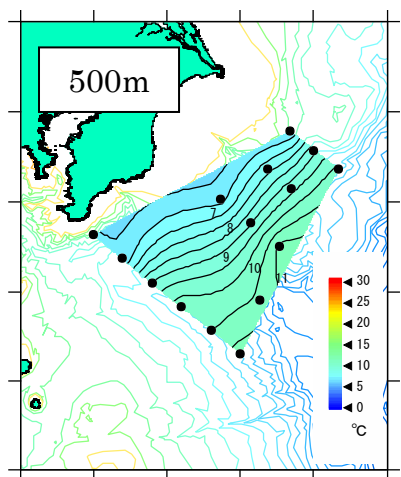
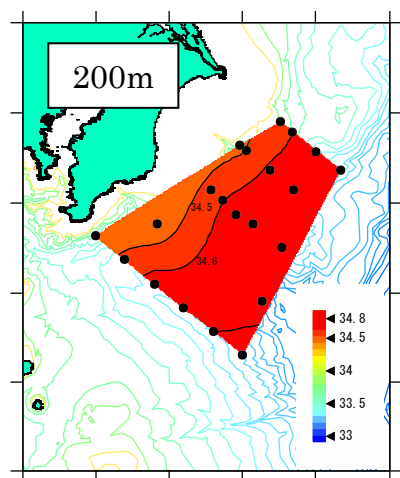
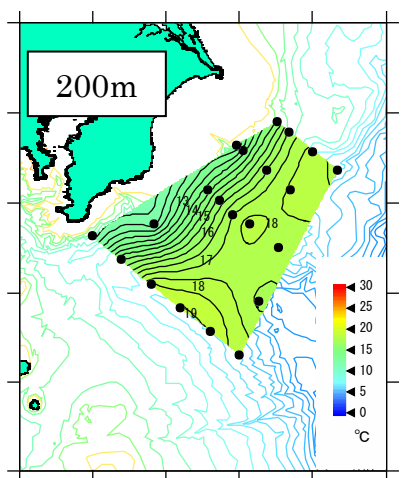
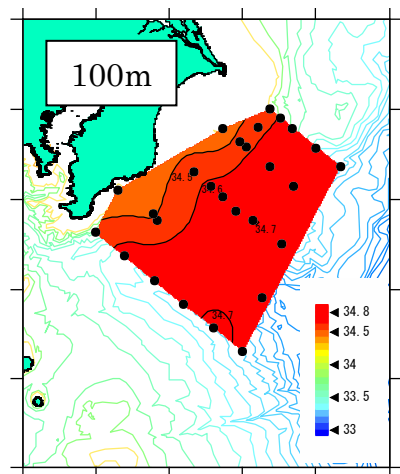
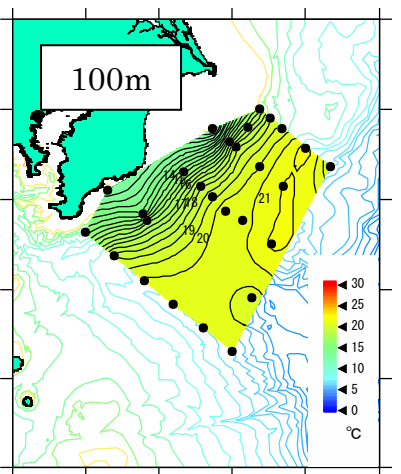
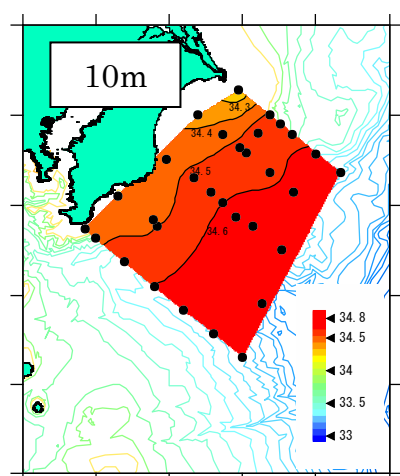
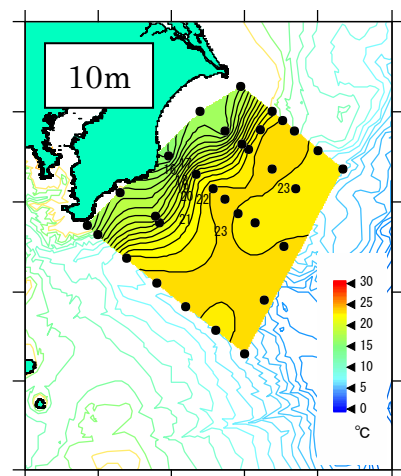


図 3 水深別の水温分布

図 4 水深別の塩分分布

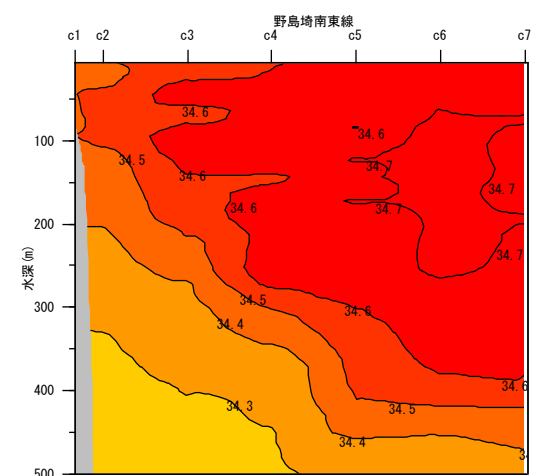
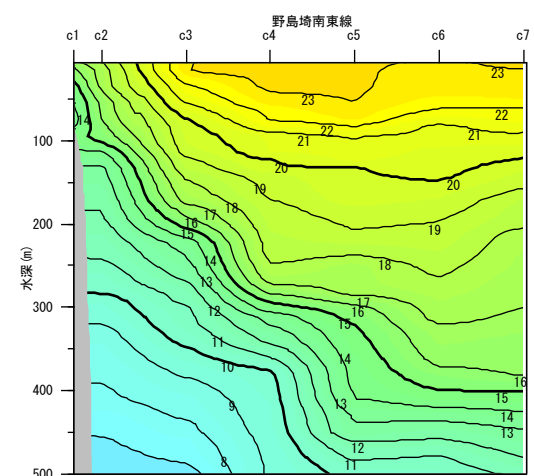
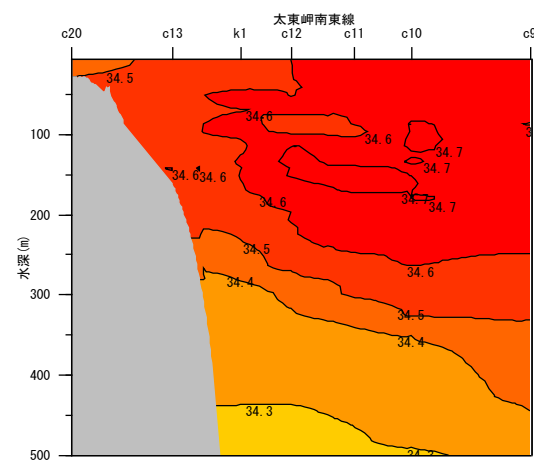
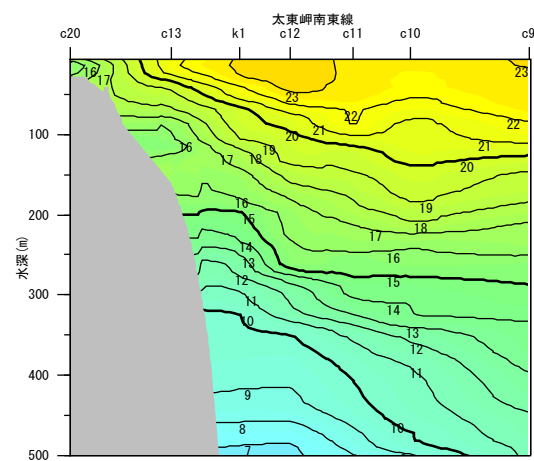
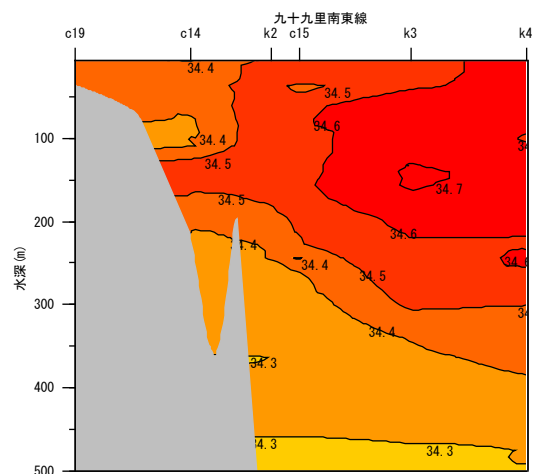
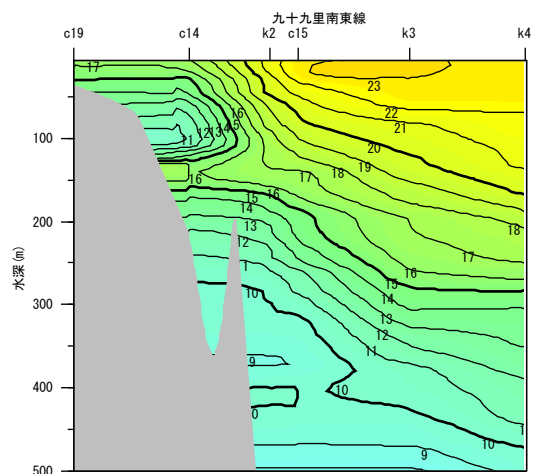
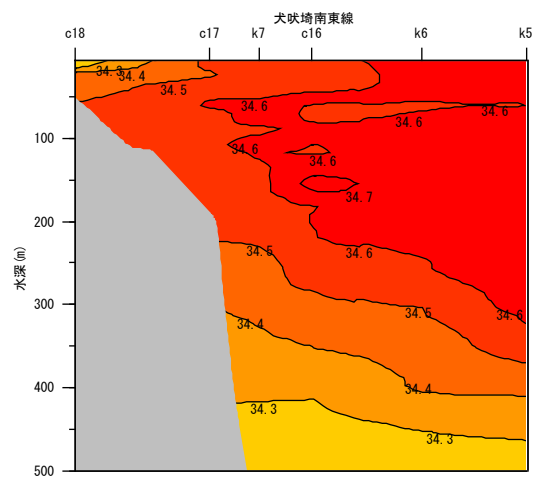
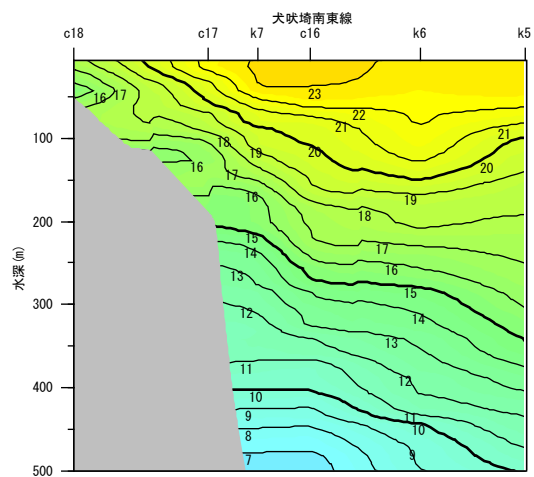


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線（図1 参照）

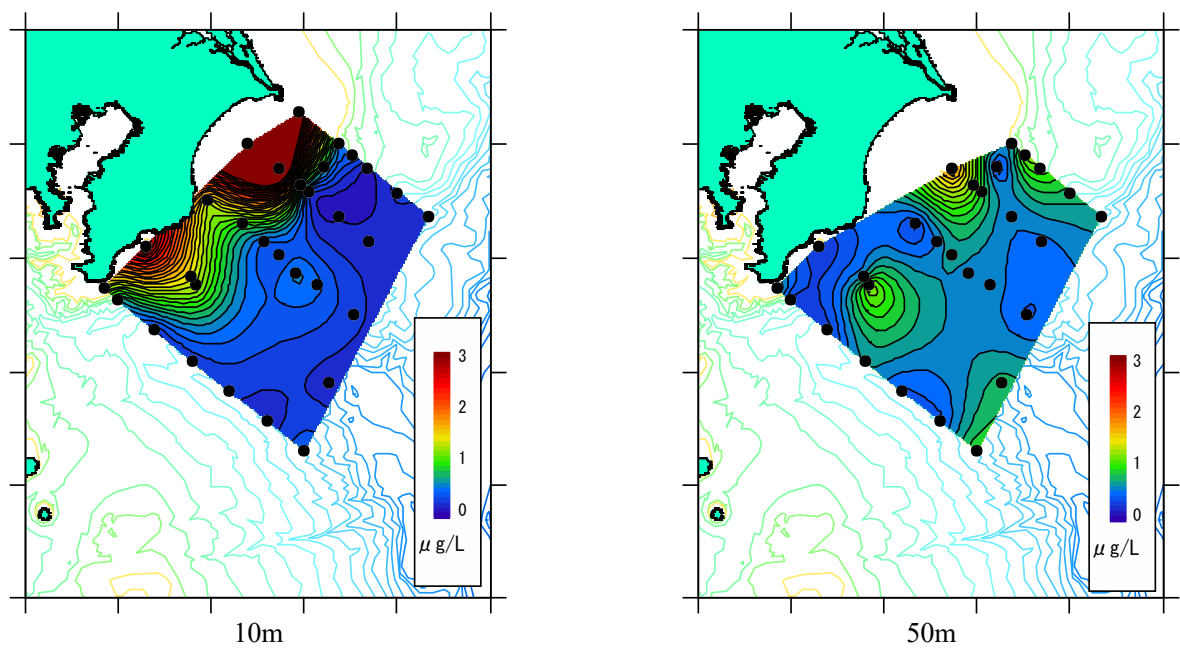


図7 水深別のクロロフィル分布（単位： $\mu\text{g/L}$ ）

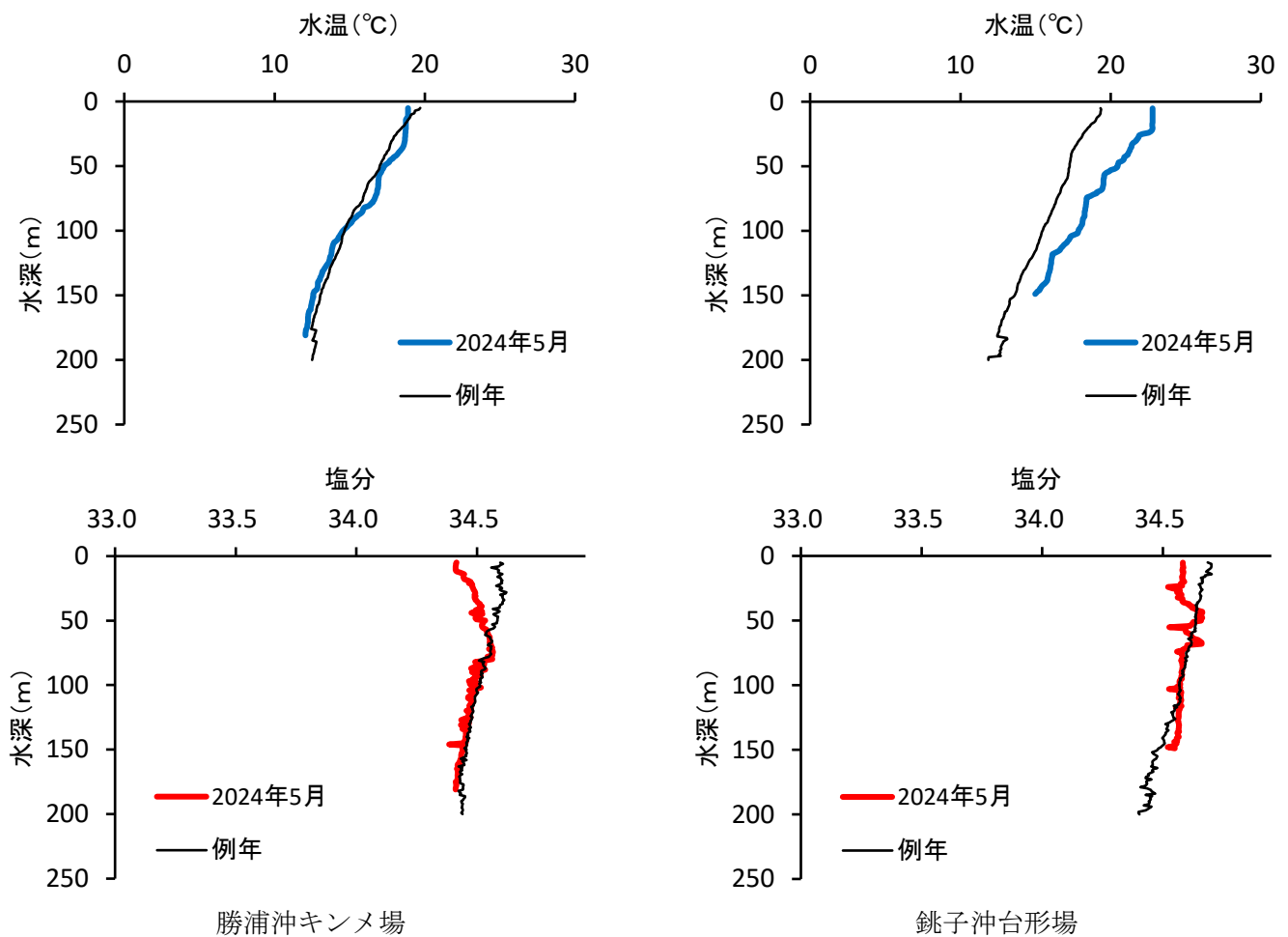


図8 勝浦沖キンメダイ漁場の水温，塩分鉛直分布（青：水温，赤：塩分）